

## インターバンクの声（2016年8月31日）

市場では米連邦準備制度理事会 (FRB) が9月にも利上げに踏み切るのではないかと観測が強まっているが、周りのディーラー仲間の中で9月に利上げがあると考えているのはごく少数だ。昨晚の時点でも、年内は利上げが12月の一回になるはずとの見方が一般的だったが、利上げに対する見方とドル/円の先行き見通しとはやや違った認識になりつつあるようだ。9月2日の雇用統計を控え、昨日、東京市場の夕方時点では簡単に102円台中盤を越えていくことはないとの見方が過半数だったように思えたが、今朝話をした銀行・証券会社のディーラーや社内の同僚の中には、ドル/円がブル転(ドルが上昇する相場に転換すること)しつつあるとの見方に変えてきた人も多い。確かに昨夜のニューヨーク市場でも、8月の米消費者信頼感指数も1年ぶりの高水準に上昇しており、利上げについては経済データ次第とするFRB高官発言によってドル買いが進んだことも要因となるだろう。今晚のニューヨーク時間には、ADP雇用統計の発表もあり、結果によってはさらにドルが買われる可能性もあるが、さすがに相場状況が変わると考えられている103円50銭の水準を越えることには抵抗があるはずだ。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。